

寄贈図書リスト

物理のキーポイント1 「キーポイント力学」
吉田春夫著, A5, 187 p, 2400 円, 岩波書店, 教科書

月報だより

研究会・集会案内

「国立天文台第2期整備計画」についての懇談会

日時 平成8年10月3日午後6時～7時
場所 学会D会場

国立天文台は、来る平成10年7月をもって創立10周年という節目を迎えます。現在建設中のすばる望遠鏡も完成間近となり、VERA計画や次の大型プロジェクトであるLMSA計画をはじめとした諸計画の推進にも努力を払っています。平成7年度より台内では、上記の計画に加えて、スペースからの天文学や天文計算科学等も視野に入れて、次期計画を推進すべく、国立天文台第2期整備計画を精力的に検討してきました。また、平成9年度には国立天文台の第三者評価を計画しております。一方、今後予想される天文学研究の進展を考えますと、単に国立天文台内に留まらず、日本の天文学全体の将来像との関連において検討すべき時ではないかと思われま。そこで上記のように、平成8年度秋季天文学会の折りに、国立天文台の第2期整備計画の検討状況をご説明するとともに、大学及び諸研究機関の研究者との懇談の場を設けさせていただきました。関心のおありの方は、万障お繰り合わせの上、ご出席くださるようお願いいたします。

1996年8月5日 国立天文台長
小平桂一

国立天文台一般公開のお知らせ

1996年の国立天文台三鷹地区の一般公開は10月19日(土)13時～19時に開催することが決まりました。今年のメインテーマは「宇宙の果て」です。現代天文学が明らかにしつつある宇宙の姿を紹介いたします。

講演会は今年も近くの三鷹市立羽沢小学校体育館で開催します。メインテーマを中心に、佐藤勝彦(東京大学)、小平桂一、梶野敏貴(国立天文台)3氏が話します。

2年続いて快晴に恵まれ、天文台構内を散歩される家族連れを多く見かけました。今年も緑濃い構内を歩いて

いただく催しを計画中です。

秋の日の午後、天文台に遊びにいらっしゃいませんか。詳細は広報普及室(0422-34-3644)にお尋ねください。

神田 泰(国立天文台)

宇宙環境利用国際シンポジウム
INSPACE'96

主催：(財)宇宙環境利用推進センター(JSUP)

開催期日：1996年11月11日(月), 11月12日(火)

開催場所：砂防会館 シェーンバッハ砂防

千代田区平河町2-7-5

TEL. 03-3261-8386

交通案内：地下鉄(有楽町線)(半蔵門線)永田町駅4番出口より徒歩1分

地下鉄(銀座線)(丸の内線)赤坂見附駅より徒歩5分

プログラム(一部変更の可能性あり、講師敬称略)

第1日 9:30～11:50

・基調講演「宇宙環境利用の意義と展望」日本の新しい進め方

山中龍夫(横浜国立大学)

・「宇宙実験・観測フリーフライヤー(SFU)のミッション概要」

栗木 恭一(宇宙科学研究所)

・「ロケット実験・航空機実験等の紹介」(仮題)

藤森義典(宇宙開発事業団)

「落下塔施設実験の紹介」(仮題)

鈴木紀男(宇宙環境利用推進センター)

・「スペースシャトル、宇宙ステーションミール等の実験計画紹介」(仮題)

齋 紀男(宇宙開発事業団)

13:00～16:00

・「米国における宇宙環境利用 — NASAにおけるACRP計画の解説—」

John C. Mankins (NASA HQ)

・「ヨーロッパにおける微小重力実験の紹介と今後の計画」(仮題)

William Wakeham (Imperial College)

・「材料研究の開発のための無容器プロセスの現状」

Richard Weber (Cotainerless Research, Inc.)

- ・「宇宙環境を利用した燃焼実験の展望」
Howard D. Ross (NASA ルイスリサーチセンター)
- ・「新天地そして新展開：国際宇宙基地からさらに未来へ」
Jackie P. Duke (テキサス大学)

16：00～17：20

- ・特別講演 西澤 潤 (東北大学総長)

第2日 (第1会場/第2会場)

9：30～11：40 (第1会場)

- ・ライフサイエンス分科会/テーマ：分子レベルへのアプローチ

司会：松宮弘幸 (バイオシステム・インターナショナル) / Jackie P. Duke (テキサス大学)

13：00～14：50 (第1会場)

- ・燃焼分科会/テーマ：世界の微小重力燃焼とその応用

司会：新岡 嵩 (東北大学流体科学研究所)

15：10～17：00 (第1会場)

- ・理工学分科会/テーマ：宇宙大型構造物

司会：工藤 勲 (北海道大学)

9：30～11：40 (第2会場)

- ・材料分科会/テーマ： μ G下における材料プロセスング

司会：栗林一彦 (宇宙科学研究所) / Richard Weber (CRI, USA)

13：00～14：50 (第2会場)

- ・熱物性分科会/テーマ：熱物性測定に微小重力をどう使うか?

司会：日比谷孟俊 (NEC) / W. Wakeham (Imperial College, UK)

15：10～17：00 (第2会場)

- ・流体分科会/テーマ：微小重力下における相変化

司会：石川正道 (三菱総合研究所)

参加費 無料

申込先・問い合わせ先

(財)宇宙環境利用推進センター

〒169 東京都新宿区西早稲田 3-30-16

TEL：03-5273-2442 (担当：菅原)

FAX：03-5273-0705

共同利用

平成9年前期(1～6月)国立天文台
岡山天体物理観測所の共同利用観測

以下のとおり公募いたします。詳細は観測所へお問い合わせ下さい。

1. 共同利用機器：188 cm 望遠鏡, 91 cm 望遠鏡
2. 利用期間：平成9年1月～6月
3. 申込資格：国・公・私立大学および国・公立研究所等の研究者、又はこれに準ずる者(大学院博士課程在学者を含む。)
4. 申込方法：規定の観測申込書により2部提出
5. 申込締切：平成8年10月1日(火)必着
6. 提出先：〒719-02 岡山県浅口郡鴨方町本庄
岡山天体物理観測所共同利用係
封筒に「岡山観測申込書在中」と朱書のこと
7. 機器一般の問合先：
〒719-02 岡山県浅口郡鴨方町大字本庄
国立天文台岡山天体物理観測所 前原英夫
電話 08654-4-2155

研究情報

[PAONET 要項]

[1996年度 公開天文台ネットワーク
臨時・加入団体募集]

「公開天文台ネットワーク(略称 PAONET ～パオネット)」は、昨年11月から正式に稼働しており、現在約80の団体が参加されております。PAONETは国立天文台が広報普及活動の一環として、各地の公開天文台・プラネタリウム・科学館・教育センターなどに対し、電話回線を通じて天文の最新画像や情報などを提供するシステムです。

加入資格は：

- ・天文の普及・教育を目的とした非営利団体
 - ・所属長の承認が必要
 - ・担当者にコンピュータの基礎知識がある
 - ・担当者が電子メールアドレスを持っている
 - ・Windowsが動作するパソコン、電話回線、モデムがある
- ※営利団体・個人の参加は出来ません。

加入された後の義務は：

- ・運用規則の遵守
- ・年度末に報告書を提出
- ・担当者はユーザーズミーティングへ出席する

1997年度の募集が半年延期されたことに伴い、1996年度の臨時の募集を10月1日～10月18日の約3週間、加入申請を受付けます。

加入される予定の団体には、11月6日(水)・国立天文台(東京・三鷹)にて行われる予定の、PAONETユーザーズミーティングを開催し、各種の説明及び資料の配布が行われます。

PAONETの資料や加入申込書などの請求、ご質問は下

記宛に郵便, Fax, 電子メールにてお願いします。

PAONET 事務局
国立天文台広報普及室内
〒東京都三鷹市大沢 2-21-1
電話：0422-34-3688
FAX：0422-34-3810

電子メール：paomgr@sl9.mtk.nao.ac.jp

- 8. 選出された候補者名は、1997年3月20日発行の天文月報4月号(第90巻第4号)に発表する。
- 9. 投票の詳細については、投票用紙の発送に際してこれを通知する。

以上

1996年10月15日

日本天文学会選挙管理委員会

注1：この選挙に伴い、投票有権者を確認するための名簿の修正を、秋季年會会場で受け付けます。郵送の場合は、11月15日までに天文学会事務室必着のこと。それまでに連絡のあった件を、投票用紙とともに発送される有権者名簿に反映します。

注2：内規の詳細については、天文学会会員名簿に添付の「日本学術会議会員候補者推薦内規」および天文月報1996年7月号記載の内規修正を参照して下さい。

会務案内

日本学術会議第17期会員候補者選考に関する公示

日本天文学会選挙管理委員会は、1997年7月に改選される表記の会員候補者(第4部・天文学)の選挙を行います。この選挙は、日本天文学会・日本学術会議会員候補者推薦内規(以下内規という)に基づいて行うもので、下記の通り公示します。

記

- 1. 選挙権を有するものは1996年10月15日における特別会員である(内規第4条および内規注)。
- 2. 被選挙権者は日本学術会議法により、1. 日本国籍を有する者、2. 会員在任任期が通算9年未満の者である(内規第5条)。
- 3. 候補者の立候補・推薦を受け付ける。受け付け期間は1996年10月15日～1996年11月15日(選挙管理委員会まで必着)とする(内規第7条)。
- 4. 立候補者・被推薦者の公表は、投票用紙送付時に、自薦書・他薦書を同封する。ただし10月25日までに受け付けた分については、天文月報12月号誌上(11月20日発行)にて公表する。
- 5. 上記有権者には12月3日に有権者名簿、投票用紙および投票用封筒を発送する。
- 6. 投票期間は1996年12月4日～1997年1月8日(選挙管理委員会まで必着)とする。
- 7. 投票は単記・無記名とする(内規第8条)。

訂正

9月号天球儀記事「サマータイムを考えました」(森本雅樹, 黒田武彦著)の中で、「サマータイムとは夏時間のことであり、イギリスでは daylight-saving time (直訳すれば日光節約時間)と呼ばれています。」との記述がありますが、daylight-saving time と呼んでいるのはイギリスではなくアメリカでした。

お詫びし、訂正致します。(黒田武彦)

追加

9月号天球儀記事「サマータイムを考えました」(森本雅樹, 黒田武彦著)関連追加記事:

天文教育普及研究会(水野孝雄会長)は、昨年の総会においてサマータイム導入に対する反対決議には至らなかったものの、教育面、生活面で憂慮すべき影響が予想されることから、制度導入に関しては慎重に検討された旨の要望書を作成、サマータイム制度研究議員連盟をはじめ、関係機関に送付しています。(黒田武彦)

編集委員	関口和寛(編集長), 末松芳法, 田代 信, 辻本拓司, 中川貴雄, 林 左絵子, 平野尚美, 宮坂正大
平成8年8月20日	発行人 〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内
印刷発行	印刷所 〒162 東京都新宿区早稲田鶴巻町 565-12
定価700円(本体680円)	発行所 〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内
	電話(0422) 31-1359(事務室・月報) 5488(欧文編集) 5487(FAX専用)
	日本天文学会のホームページ http://www.tenmon.or.jp
	社団法人 日本天文学会
	啓文堂 松本印刷
	社団法人 日本天文学会
	振替口座 00160-1-13595